



飛鳥散策と岡寺拝観の記録

担当：Aグループ

案内：福島(昭)

記録：荘村

1. 日時： 令和5年6月1日(木)10時20分
2. 集合場所： 近鉄南大阪線 橿原神宮前駅
3. 参加者： 17名 (個人名の記載は省略させていただきます。)
4. 行程： 橿原神宮前東口バス停(10:36スタート)～飛鳥大仏バス停⇒飛鳥坐神社⇒飛鳥寺拝観⇒万葉展望広場(昼食)⇒酒船石遺跡⇒飛鳥宮跡⇒犬養万葉記念館⇒岡寺参道鳥居(13:30)⇒岡寺拝観⇒岡寺前バス停～橿原神宮前東口バス停(15:40解散)

この例会は梅雨入り後の実施となり雨の予報も出ていましたが、午前中は好天に恵まれ陽光を感じることができ、昼からも雨に遭わずまあまあの天気での散策となりました。

集合場所から「明日香周遊赤かめバス」に乗り飛鳥大仏バス停まで楽々移動する。始めに向ったのは飛鳥坐神社で、その階段横の広場にある「飛鳥東垣内遺跡」の案内板の前で福島(昭)さんから、早速に飛鳥期の斉明女帝にまつわる「ウンチク話」を拝聴する。



飛鳥坐神社入口



飛鳥東垣内遺跡案内板の前で説明



飛鳥寺入口

そのあと、飛鳥寺に戻り飛鳥期の創建当時と同じ場所に鎮座している飛鳥大仏及び入鹿の首塚を見学して万葉文化館西口にある展望広場に向う。そこで30分程の食事休憩をして、故網干先生の歌碑の前で集合写真を撮る。食事後すぐ隣にある亀形石造物を含む丘陵一帯に広がる「酒船石遺跡」を見学する。これらの遺跡の多くは日本書紀に出てくる斉明女帝の「両槻宮」ではないかと推定されている。



万葉展望広場で集合写真



亀形石造物



謎の酒船石

その後、古代飛鳥の中心地であった飛鳥宮跡を自由散策して犬養万葉記念館を訪ねる。ここで暫く休憩をして岡寺参道の入口の鳥居をくぐる。途中栗の雄花、雌花、そして珍しいオオヤマレンゲの花に出会う。

坂道を10分程登り岡寺(東光山龍蓋寺)の本堂前にたどり着く。早速中に入り、ありがたい本尊・如意輪観音座像(岡本大仏)を拝観させて頂く。飛鳥大仏よりも大きく迫力があつた。奥之院に通じる参道はアジサイの花で荘厳に飾られており楽しく観賞させてもらった。



岡寺参道入口の鳥居



オオヤマレンゲの花



アジサイ回廊

そして三重宝塔前から見える眺望を楽しんで岡寺を下山し、岡寺前バス停から「赤かめバス」に乗り橿原神宮前東口バス停まで楽々移動し、全員無事に帰路につく。

《余 録》

朝のウンチク話で一番印象に残ったのは“狂心渠”(タブレゴコロノミゾ)という聞きなれない言葉である。要は多くの時間、人手を使って、無駄な大土木工事を完工した斉明女帝を皮肉った当時の人々の声とのことであるが、興味深いのは、これがわが国の公の歴史書である日本書紀に記載されていることである。